



木村 聖子 議員 … 2件の一般質問

「ひらふ地区の交通標示等について」

町長：渋滞緩和・安全確保のため解決に向けて検討したい



渋滞するひらふ坂

木村 ここ数年、観光客のレンタカー利用が増加しているのに伴い、衝突事故等が多発している。町民はもとより、観光客の安全確保について、町長に伺う。

1、ビレッジ群は道幅が特に狭く、坂道も多いことから、道に不慣れな観光客に、車両及び歩行者への注意喚起をする標示板等設置の検討を。
2、ひらふ交差点バス停前は、特に朝夕の時間帯におけるバスや右折車等の一時停車により、著しく交通の流れが停滞して

いる中、歩行者が車両間を横断するなど、危険な状態にもなっている。渋滞緩和対策の検討を。

町長

1、地区町内会などの要望も踏まえ、看板の増設やほかの周知方法などの検討。
警察署・レンタカー業者等と連携して利用者に安全啓蒙を検討していきたい。

駐車禁止や速度制限などの規制は、北海道公安委員会へ要請していく。
2、渋滞緩和・安全確保のため、北海道など関係機関との連携のもと、
①関係車両のゴンドラ坂への迂回誘導策
②防犯カメラによるひらふ坂交差点の通行状態の実態把握と、その結果を踏まえた公安委員会への信号機の時差式や歩車分離式への変更要請
③渋滞緩和に係る道路改良要望
④交差点に警察官が立哨して歩行者の指導に当たれることを要望など渋滞の抜本的な解決に向けて検討し対応したい。

「施設作物の支援策」

木村 本年度、高収益作物の調査を行い、バレイシヨに続く地域のブランドとなり得る新しい農作物の開拓に取り組み始めたところだが、以下の点を伺う。

1、これまでの調査結果は。
2、次年度に向けての施策は。
3、施設作物を始める際、施設整備費が農業者のネックとなっているが町としての支援策は。

町長

1、小規模でも農業所得を得られやすい高収益作物の模索と、既存農家の所得向上を目的に実証試験圃を設置し、本町に適合する高収益野菜調査を行った。（高糖度トマト、ミニトマト、パプリカ、スイートコーンなどの夏野菜のほか、冬期間にビニールハウスを利用して栽培する寒締めホウレンソウ、キャベツ、白菜、大根の全8品目）調査結果は年明けになる。
2、新規就農者の受け入れに必要な小規模経営の



高収益作物の調査

モデル的営農類型の構築を図ることとしている。
法人などの大規模経営農家を研修施設と位置づけ、そこで研修する方を側面より支援するため、町の独自事業として、新規就農サポート事業の予算化に向け準備を進めている。
本事業は、研修生を受け入れる農家に対して、掛かり増し経費の一部助成と、研修を受ける研修生の生活支援を考慮しており、来年度の予算化に向け検討している。
3、施設野菜の生産には、ビニールハウス等の施設整備に多額の初期費用が必要であり、バレイシヨ中心の畑作専業農家が主体である本町には、豪雪地帯であること、高齢化や規模拡大による労働力不足等の問題から、施設野菜の導入が進んでこなかったのが現状。
今後、地域に適した作物の選定を行い、収益が見込めることや、生産者の確保ができる状況が見えてきたときには、施設整備についても積極的な支援を進めていきたい。